

緑 樹

発行者
清川村立緑中学校
市川美紀子
所在地
清川村煤ヶ谷 1933
Tel. 046-288-1241
ホームページアドレス
<http://www.kiyokawa-edu.jp/sch/midori-jhs/>

「自律した大人に」

校長 市川美紀子

教育基本法第一章第一条の「教育の目的」には、「教育は人格の完成を目的とし、平和で民主的な国家及び社会の形成者として必要な資質を備えた心身ともに健康な国民の育成を期して行われなければならない」とあります。冒頭の人格の完成は一生、完成には至りませんが、それでも尚、目指すのです。壮大なこの文意が意味する事は、自立とはまた違う「自律」、自分で方向付けができるという事でしようか・・・。

つそれが正しい事なのか、そうでないのかを判断できる。つまり、全体の価値観とのバランスをとりながら、自分が決める方向へ進んでいける。自分の立ち位置と方向付けと方法を分かっているという事だと考えます。人は難なく生活していても、どこかで必ず決断を迫られる時がきます。その時には、人のせいにならず、自分自身に責任を持たなければなりません。義務教育を修了する3年生には尚の事、心してほしいところです。それは、

卒業の何年か後には社会人になり、やがては父となり母となる可能性をもった人達だからです。自律した人間とは？と問われたならば、私は迷わず三つのキーワードを挙げます。「気づき」と「自発」と「親密」です。気づきは生きる上で最大の武器です。自発は思考力・判断力・表現力の総結集です。そして親密は自己への思いやりやいたわりです。来る三月十三日、二十二年の生徒が卒業します。羽ばたけ卒業生、磨け在校生。

羽ばたけ卒業生！ 磨け在校生！

一月二十七日（水）、緑小学校六年生十八名が本校を訪れました。六校時の一・二年生の授業を参観し、その後、英語の授業体験を行いました。授業体験では、礼儀正しく、はきはきした態度で授業に臨んでいました。英語のあいさつや歌のあと、「サイモン・セズ」というゲームに皆で楽しく参加しました。その後、部活動の見学を行いました。下校しました。何人かの児童の感想を紹介します。
・「私はまず授業参観では、ノートと字がとてきれいだと思いました。私も丁寧に書く心がけがよいと思いました。英語の体験では、

初めは少し恥ずかしいところがあったけれど途中からだんだん楽しくなっていました。また、先生方も盛り上げてくださったのでより楽しくなりました。部活ではみんな楽しそうに行っていたので入りたいと思いました。私はおもしろそうなので本が

新入生授業体験・部活動見学



授業参観・保護者会実施

二月六日（金）に、一・二年生の授業参観と保護者会を実施いたしました。一年生は社会で、歴史分野の「室町文化」の特色について学習しました。小学

一年職業調べ発表会

一年生は、昨年五月より総合的な学習の時間を活用して、職業調査に取り組みました。この調べ学習を通して、将来の自分の生き方について考え、生涯を通じて学ぶ力を養い社会に貢献できる人間性を養うことを目標にしました。生徒一人ひとりが興味関心を持った職業をレポートにまとめました。このレポートは、十月に開催した文化発表会に掲示発表いたしました。十二月からはパワーポイントを活用しての発表準備に取りかかりました。そして、二月二日（月）と十二日（木）に、各自が調べた職業の特色をパワーポイントを使い発表しました。悪戦苦闘しながらもパワーポイントの使い方を覚え、当日は自信を持って発表をすることができたようです。発表を終えて、ほととずる生徒の姿も見られました。次年度は、職場体験を実施しますが、その発表においてもPC機器を活用し表現力が充実できるように発表をめざしていきます。

うでした。なので、中学校ではよろしく願います。新入生の皆さんの入学を待っています。



第六十七回卒業証書授与式に向けて

三月十三日に卒業証書授与式が実施されます。学校では、現在様々な準備を行っています。良い式になるよう、作法や歌の練習を重ねています。三年生は「キミのもとへ」、一・二年生は「時を越えて」の合唱練習を行っています。外部講師の岡嶋先生をお迎えして合唱の仕上げに取り組んでいます。また、三月三日からは式練習も始まり、三年生を心から祝福する式にしたいと思います。



新しく入った本の紹介



今年度緑中には、職員、生徒からの要望を受けたものや教科に関連するもの、話題の本等々で計三二九冊の本が入ってきました。今回はその中から、昨年、最年少でノーベル平和賞を受賞したマララ・ユスフザイさんに関連した本を紹介したいと思います。



この本は「女の子も学校で勉強したい」と訴えて、二〇一二年にタリバンに銃撃された少女マララさんについて書かれたものです。日本では、男女を問わず、学校へ行くのは当たり前のことなのに「学校へ行きたい」と言っただけで命を狙われるなんて理解しがたいことだと思えます。この本では、マララさんの生まれ育ったパキスタンのミンゴラの地域情勢なども詳しく書かれており、なぜ、マララさんが命をかけてまで「学校へ行きたい」、勉強したいかと世界へ発信したのかがわかります。銃撃されたマララさんは生死の境をさまよ

アルミ缶回収にご協力を

二月十二日(木)、ボランティア委員会の呼びかけのもと、集まったアルミ缶を清川ホールに寄贈しました。ボランティア委員長の吉村千聖さんと副委員長の廣岡颯さんが副園長の佐藤さんに手渡ししました。寄贈したアルミ缶は、ホームの運営費として使って頂く予定です。ボランティア委員会では、二期と三期にそれぞれ一回ずつキャンペーンを行い、生徒の

皆さんにアルミ缶を持ってきてくれるように呼びかけました。皆様のご協力に感謝いたします。生徒昇降口にカゴが置いてありますので、生徒の皆さんにはこれからもいつでもアルミ缶を持ってきてほしいと思います。保護者の皆様にもアルミ缶回収にご協力をお願いいたします。



ある日のALT授業より

二月十九日(木)に今年度最後のオンライン先生の授業がありました。三年生の授業ではフィリピンに里帰りした時のお話をいろいろ英語で話していただきました。特に同窓会については全校あげてパレードをするという盛大なフィリピンの様子に生徒は興味津々でした。日本との違いに驚いていました。また、多言語国家であるフィリピンの英語教育についてのお話では、オンライン先生も英語を第二外国語として学んだということに勇氣

☆三月の予定

- 二日 (月) 学校朝会
- 四日 (水) 学級専門委員会
- 十日 (火) 卒業証書授与式予行・三年生を送る会
- 十三日 (木) 卒業証書授与式
- 十七日 (火) 生徒結団式・球技大会
- 十八日 (水) 清掃強化日
- 二十五日 (水) 修了式



づけられた様子でした。また、代表の生徒からキヤロライン先生に英語で感謝のあいさつと寄せ書きを贈りました。三年生は緑小学校の五年生から指導して頂いています。先生も三年生の成長と卒業を喜んでいました。

